



いずみ幼稚園児

小正月の伝統行事 団子さし

1月9日に福島空港公園エアフロントエリア管理棟でいずみ幼稚園児による小正月行事の「団子さし」が行われました。

団子さしのいわれについては「豊作祈願」「一家繁栄」「豊かな生活」の願いがこめられているそうです。

団子さしに協力された園児のみなさん、どのような願いをこめたのかな。

主な内容

12月定例会の条例制定、条例の改正、補正予算など…	2~4
請願・陳情・意見書	4
12月定例会一般質問	5~11
検証 レポート	11
話題、議会のうごき	12



玉川村議会 12月定例会

審議議案と各議員の賛否（12月定例会）

○は賛成、×は反対、欠は欠席 須藤議長は採決に加わらないため空欄

議案番号	議案名	採決	車	渡	塩	小	鈴	飯	大	田	西	三	須
			田	邊	澤	林	木	島	和	子	川	瓶	
議案第56号	玉川村職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	否決	×	×	○	○	×	○	×	欠	×	×	×
議案第57号	玉川村子ども・子育て会議条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第58号	村長等及び職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	否決	×	×	○	×	×	○	×	欠	×	×	×
議案第59号	玉川村の諸収入金に対する延滞金徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第60号	玉川村税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第61号	玉川村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第62号	平成25年度玉川村一般会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	○
議案第63号	平成25年度玉川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議案第64号	平成25年度玉川村介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
発議第7号	雇用の安定を求める意見書（案）の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
発議第8号	東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書（案）の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
発議第9号	2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書（案）の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数11人（平成25年年間傍聴人数67人）

条例

村職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の趣旨を踏まえ、期間を定めて、職員の給与を減額したいので、地方公務員法第24条第6項の規定により、条例を制定するもので、この減額措置については、国家公務員の給与改定による臨時特例を受けて実施するものであり、全国の市町村、福島県や近隣市町村、石川郡管内の実施状況を踏まえ、条例を制定するものである。

反対討論

車田悦夫

私は本案に対し反対します。私は、そもそも、職員の給与がどのくらいが妥当なのかわかりません。今後、職員の給与を精査する必要があると思います。できる職員にはもっとあげてもいいし、現在の年功序列の体系を見直すべ

あ ら ま し

玉川村議会12月定例会は12月13日から18日までの6日間の会期で開催されました。今回の議会では、条例の制定や改正の議案6件、補正予算議案3件、が提案されました。

また、一般質問には7人の議員が登壇し村執行部の考えを質しました。

きだと思えます。「広報たまたま12月号」によると、平均41・7才で31万4400円とありました。民間企業との比較も検討すべきであると思えます。公務員といえども労働者です。それなりの対価は必要であると考えます。今回、3か月間の一部給与減額であります。震災以降頑張ってきた職員に対し大きく士気を下げるだけです。職員一人一人のやる気とアイデアをくみ取り村政に繁栄させるべきだと思ひ、村職員の給与の臨時特例に関する条例の制定に反対する。

賛成討論

塩澤 重男

給与条例について、職員との話し合いが合意されていないのは残念であるが、提案された条例は削減する期間を短縮するなど修正されたもので、特別職も負担を分かち合う条例も提案される。

また、今後の地方交付税に影響することが懸念されるため、提案された条例制定に賛

成する。

子ども・子育て会議条例の制定

子ども・子育て支援法の制定を踏まえ、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の設定や子ども・子育て支援事業計画等の事務を処理するために、子ども・子育て会議の設置が努力義務とされたために、玉川村における子ども・子育て支援施策を実施するうえで、重要な役割を果たすものとなることから、新たに「玉川子ども・子育て会議」を設置するため、条例を制定するものである。

村長等及び職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の趣旨を踏まえて、職員だけに負担を強いるのではなく、特別職についても給与を削減して財源を確保するため条例を改正するものである。

反対討論

鈴木 忠雄

特別職の報酬を減額する大義名分がないので、提案された条例の一部改正には反対する。

村の諸収入金に対する延滞金徴収条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、地方自治法の規定による諸収入金に係る延滞金の利率が引き下げとなるため、条例の改正を行うものである。

村税条例の一部を改正する条例

今回の改正は、地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものである。

村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

平成25年度税制改正による地方税法の一部改正に伴い、後期高齢者医療保険料の延滞金の割合を引き下げる特例措

置の見直しが行われたことから、条例の改正を行うものである。

補正予算

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1億1014万9千円を追加し、予算総額を39億329万1千円とするものである。(表1を参照)

表1 一般会計の歳入・歳出の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	県支出金	41,517	ため池等汚染拡散防止対策事業
	地方交付税	13,000	特別交付税
	国庫支出金	39,030	公共土木災害復旧費
	村債	20,000	災害復旧事業債等
歳出	農林水産業費	30,152	ため池等汚染拡散防止対策事業
	災害復旧費	29,726	台風18号災害
	民生費	25,950	災害廃棄物処理事業等

反 対 討 論

鈴木忠雄

以前に請願し採択され、当初予算に組み入れられた二線堤の関連工事の件で、事業を実施するにあたり理解を得られないため、福島県が二線堤工事を断念し、村の関連工事も断念することは納得できないので、補正予算に反対する。

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、5007万円を追加し、予算総額を9億183万9千円とするものである。

※歳入の主なもの

・ 国庫支出金

1115万4千円

・ 県支出金 493万8千円

・ 保険財政共同安定化事業交付金 2641万4千円

・ 基金繰入 1000万円

・ 療養給付費交付金

△243万6千円

※歳出の主なもの

・ 保険給付費

4397万円
償還金 730万4千円
予備費 △227万円

介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ3217万9千円追加し、予算総額を4億4697万9千円とするものである。

※歳入の主なもの

・ 国庫支出金

1359万3千円

・ 繰入金 1206万2千円

※歳出の主なもの

・ 保険給付費

3400万9千円

・ 基金積立金

△183万円

請 願

●雇用の安定を求める意見書

提出について

【請願者】

日本労働組合総連合会

福島県連合会石川地区連合

議長 高宮 清

【紹介議員】 三瓶 力

【請願の趣旨】

①労働者派遣法の大幅な緩和

を行わず、雇用の安定を図ること。

②「ブラック企業」問題に対する実効性ある対策を講ずること。若年者雇用について、就労支援をさらに拡充すること。

③成長分野での産業育成を図り、雇用を創出すること。

以上の3点について、政府関係機関に意見書の提出をお願いすること。

【審議の結果】

総務産業建設常任委員会に付託されて審議したところ、

採択することに決定した。

●2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書について

【請願者】

福島県教職員組合

中央執行委員長 五十嵐史郎

石川支部長 星 恵子

【紹介議員】 三瓶 力

【請願の趣旨】

①個別の教育問題に対応し子供たちに安心・安全な学校生活

を保障するために、地方交付税を含む国の教育予算を拡

充すること。

②教職員定数の拡充・財政措

置を行うこと。

以上2点について、政府関係当局に意見書の提出をお願いすること。

【審議の結果】

文教厚生常任委員会に付託されて審議したところ、採択することに決定した。

●古金塚川改修工事に関する請願

【請願者】

吉区长 境田孝夫

紹介議員 森 清重

【審議の結果】

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、

採択することに決定した。

●東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書について

【陳情者】

福島県町村議会議長会

会長 八島 博正

【審議の結果】

付託を受けた総務産業建設常任委員会で審議した結果、

採択することに決定した。

【意見書(議員発議)】

雇用の安定を求める意見書

と、東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書、2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書について議員発議で本会

議提案され、全会一致で可決された。

意見書は、内閣総理大臣ほか政府関係機関に提出された。



趣旨を説明する請願者の境田区长(古金塚川)

玉川村議会12月定例会

村政

ここがききたい

村の答えは？



7人の議員が村政を問う

Q 大寺城公園周辺における環境整備について
毎年、南須釜地域住民の 方々の協力で整備を行い、県



飯島三郎議員

通告者	質問事項
飯島三郎	1. 大寺城公園周辺における環境整備について
大和田宏	1. 平成26年度の予算編成に対する基本的な方針について 2. 村内の観光計画整備事業の調査状況と今後の進め方について
小林徳清	1. 一般住宅の耐震診断、改修に対する取り組みについて 2. 幼保一体化施設の計画について（こども園） 3. 今年度の事業実施状況について
車田悦夫	1. 玉川村内の屋外広告物の設置状況について 2. 川辺小学校の統合後の利活用について
渡邊一雄	1. 今後の村の農業の対応について 2. 若い方々の支援について
塩澤重男	1. 少子高齢化対策について 2. 行財政改革の取り組みについて
鈴木忠雄	1. 危機管理について 2. 瓦礫置き場について 3. 反問権について

答 一口に破砕機と言いまし

問 竹・木などの破砕機の購入について。

答 今後どのように整備し、将来に残していくのか、検討する中で駐車場増設のお話ができるものと考えている。

問 駐車場の増設について。
答 現在、村で整備した駐車場があるわけでありませんが、通常の利用状況では、駐車スペースが足りないなどのご意見はいただいていない。

問 大寺城周辺の整備については、昨年9月定例会の塩澤議員のご質問に答弁をしておりますように、今後どのように整備し、将来に残していくか、地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参りたい。

問 県道の北ノ宿方向から見た大寺城北側周辺整備について。
答 今後どう整備に取り組んでいくのか伺いたい。

問 大寺城周辺の整備については、昨年9月定例会の塩澤議員のご質問に答弁をしておりますように、今後どのように整備し、将来に残していくか、地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参りたい。

の森林事業で取り組んできました。しかし、地目が畑になっているため、まだ整備に取り組めないでいる場所が多くあります。



大寺城跡

でも、細い枝をチップ状にする程度の物から、パウダー状にするものまでの種類があり、価格も数万円から数百万円とかなりの幅がある。
村では、農林関係の補助事業で購入できないか調査しているが、現在のところ該当する事業は見つかっていません。今後も引き続き、対象となる補助事業について調査する。



大和田 宏 議員

Q 平成26年度の予算編成に対する基本的な方針は。
A 5つの柱を基本に、施策を展開していきたい。

問 震災による災害復旧は完了し、復興に向けて取組まれている状況にあります。

答 震災からの復旧・復興・再生を確かなものにするため職員への予算編成説明会を開催し、それぞれ作業に入っております。

特に「少子高齢化」、「産業振興・活力」、「安心安全な地域」、「交流による地域活性化」の4つの課題に対処しながら、「未来につながる村づくり」「元気な「たまかわ」の実現に向け、なお一層の振興を

図る取り組みをしていかなければならないと考えております。

予算編成の基本方針・主な施策としては、①「豊かな人間性、郷土を愛する心を育む村づくり」で、幼保一体化施設等の整備、玉一小・川辺小の統合の推進、子育て支援などの。②「共に支えあい生き生きと暮らせる村づくり」で、児童・障害者・高齢者福祉の充実、「健康の駅たまかわ」の開設など。③「環境にやさしく快適で安心して暮らせる村づくり」で、道路の維持管理に努め、上下水道施設の整備促進の具現化、新エネルギーの有効活用による環境にやさしい循環型社会の実現、災害に強い村づくりに向けた

消防防災施設等の整備など。④「魅力的で活力に満ちた村づくり」で、営農推進協議会の充実、道の駅・空の駅を活用した流通販路の拡大等による農業の振興、商工業者の活性化、工場誘致等への積極的な取り組みなど。⑤「人の交流により、人と地域が輝き、時代の変化に的確に対応できる村づくり」で、観光資源を生かし、観光交流の推進、村民の皆さんと協働による取り組みなど。

「玉川第5次振興計画」をもとに、基本方針の推進し、施策を展開して、復興・再生を確かなものにし、更なる飛躍の年につなげていきたい。

問 幼保一体化の施設の整備については、26年度中に判断されるのか。

答 国の補助の推移を見ながら、判断したい。

問 災害に強い村づくりに向けた取り組みとは何か。

答 玉川派出所の24時間体制の実施に伴い整備を図ってきたい。

Q 村内の観光計画整備事業の調査状況と今後の進め方は。
A 調査の結果を踏まえて、観光交流事業等を推進していく。

問 玉川村の観光開発の資源調査の結果を踏まえて、今後の事業展開にどう活かされるのか、次の3点について伺います。

①調査の状況はどうなのか。

②調査の結果を踏まえて今後どう取組まれるのか。

③今後の事業展開にあたり、アドバイザーの観点から、今回の調査に携わった調査員の再委託はあるのか。

答 ①村内の観光資源となるものの掘り起こしや既に資源と判断できるものを磨き上げることをメインに行っており史跡・民俗・人物など広範囲に調査を実施。アンケートによる、村内外の方々から玉川村をどのように認識の調査の実施。

②4名の調査員の地道な活動により多くそして貴重な情報が集められてきております。これらの結果を踏まえて村内の観光資源、さらには近隣の観光資源と連携し、観光交流事業等の推進を図って参りたい。

③調査業務は今年度で完了し

問 今後の具体的にどう進めていくのか。

答 調査内容を精査しながらグループ分けをし、具体化していきたい。

問 玉川村の魅力を発信するために、フォトコンテストを実施してはどうか。

答 検討していきたい。



観光資源調査（ワークショップ）



小林 徳清 議員

Q 木造住宅の耐震診断、改修に対する取組について補助要綱を策定し予算化を行い、促進して参りたいと考えている。

問 東日本大震災以降、建物の耐震に関心が高まり、多くの市区町村が補助金制度を整備し活用されている。

当村は整備されていないのは何故か、今後取り組む考えは。

答 平成18～21年まで、耐震診断の為の診断者派遣事業を実施したところ、改修が必要なものについては、希望者が無かった。平成22年3月末で終了しているが、今後補助要綱を策定

Q 幼保一体化施設の計画について
A 平成28年度建物完成、29年度開園に努力する。

問 認定こども園は、緊急の村政最重要課題であり、検討から計画に入り事業実地から、開園に向けての、順次工

は、全額村負担となります。造成、建設費用は12億円以上となるが、幼稚園、保育所の一体化は喫緊の課題であり、来年度に基本設計と実地設計を組み、28年建物を完成させ、次年度開園に努力する。

問 施設の規模、構造、概算費用等は。
答 面積2,700㎡、構造は木造平屋建て、工事費現在8億6千万円、オール電化に依る床暖房を予定している。

問 幼保一体化に向けた設置委員会の設立は。
答 昨年6月給食センター、総合こども園建設検討委員会を立ち上げ、会議を3回、視察研修2回実施し、12月検討

問 施設に対する保護者、先生、有知識者の意見を反映させるべきと思うが。
答 広く皆さんの意見を拝聴し、施設に反映させて参ります。

Q 今年度の事業実施状況について
A 二線提工事断念で予定関連工事を断念した

予算審議され、可決承認された事業が、未だ実施に至っていない所が見受けられますが、その事情と今後の見通しを4点伺う。

問 事業採択の内示後着手となり、内示については1月になる。
答 事業採択の内示後着手となり、内示については1月になる。

問 竜崎前谷地地区排水路改修事業は。
答 県が予定していた、竜崎地区における二線提工事の今年度事業執行を断念した為、村の関連工事として予定していたが断念した。

問 村道竜一18号線改良工事は2カ年に渡り実地し完了となっていたが今年度は、舗装は出来ないと聞いているが何故か。
答 国から県への予算配分が満額とならず、要望額の75%で今年度での完了出来ない見通しとなったが、引き続き予算要求していく。

問 竜崎地区三ツ池斜樋改修工事について。
答 地方公共団体が建設する「認定こども園」には補助が無い、過疎指定地域でない当村

問 戸建住宅除染は、全て実

施出来るのか、又何戸か。
答 除染実施の戸数を60戸と想定、申し込み8戸で10月発注し終了している、優先順位2位の岩法寺、南須釜地区のうち希望があった200戸について、線量調査を実施中で、基準を超え、かつ希望があった場合、来年度上半期に実施する考えでいる。



現在工事が行われている村道竜一18号線



車田悦夫議員

Q 玉川村の屋外広告物設置状況について

問 玉川村内の屋外広告物(看板、広告塔など)は、商品の宣伝及び事業所の案内等、必要なものであります。玉川村は福島県屋外広告物条例により設置する場合、許可が必要な地域に指定されていま

す。現在、どのような区分及び地域に指定されているのか。又、この条例に違反している自己用広告物はないのか。答 本村には、条例により、第1種普通規制地域と第2種特別規制地域がある。第1種普通規制地域は都市計画区域内、第2種特別規制地域は、あぶくま高原道路、主要地方道須賀川古殿線、矢吹小野線の一部、県道福島空港西線です。又、許可を得ていないと思

われる広告物は、県道矢吹小野線に2件、県道福島空港西線で2件確認しております。これらの、許可を得ていない広告物については、設置者への指導を行ってまいります。

問 以前、玉川村農産物直売所の設計をした際、国道118号線沿線に案内板を設置するに当たり、主要地方道須賀川古殿線、矢吹小野線の一部、県道福島空港西線より自己用でない土地に設置する場合は両側500m以上離すように指導受けました。現在500m以内に看板が見受けられるが違反ではないのか。答 国道118号線の西側については、規制地域外となるので違反ではない。



国道118号の案内看板

問 主要道路に面した事業所は、敷地内に広告物を設置できませんが、主要道路から離れた事業所にとっては、案内板を主要道路に設置したくても設置できません。どうか、設置できるような手立てを検討することはでき

ないか。答 今後、検討させていただきます。問 こぶしの里の案内看板を空港西道路入口付近へ移動すること可能でしょうか。答 検討させていただきます。

Q 川辺小学校の統合後の利活用について

問 残念ながら、川辺小学校は、児童生の減少により平成27年度から玉川第一小学校と統合となり、廃校となっております。その後の建物、校庭敷地等の利用はどのように考えているのか。

答 統合後の建物、グラウンド及び敷地については、住民の方々からの要望が出ていますので、地区住民の意向に沿うよう協議し、他自治体の具体的事例を参考にして利活用を図っていきます。

問 他の町村では、廃校になった校舎、敷地を民間企業へ格安で売却した事例があります。今後の有事の際の、避難場所、避難民受入れ施設、地元民の憩いの場所として利活用できるよう、決して民間企業へ売却せず、村の財産として管理、運営していただきたいと思うが、いかがか。答 地区住民の意向に沿うよう協議し、他自治体の具体的事例を参考に利活用を図っていきます。



渡邊 一雄 議員

**Q 今後の村の農業対応について
A 規模拡大した指導をする。**

問 TPPの問題をきっかけに現在様々な政策が、国では議論され、又農業に対して厳しい環境になると思われます。

米の値段も徐々に下落し厳しくなり、村では現在農業に携わる人の多くは高齢の方々とあり、厳しい状況では農業を辞する方々が多くなり遊休農地も現在より多くなると思っています。

答 これらを踏まえ村として早めの対応をしていかなければならないと思うが、村としての考え方を伺いたい。

問 従来、政府がコメの生産調整を指導していますが、5年後

Q 若い方々の支援について

A 若い夫婦の定住、子育て支援をする。

問 村では現在、若い方々

結婚をして村の住宅に住みた

く申し込んでも入居出来ないと言うことで、村外の住宅に住む方が居られます。

現在村の人口は7千人を割っている状況、その中一人でも若い人達に村に住んでもらう様な対策、支援をしていかなければならないと思うが、村としての考え方を伺いたい。

答 若い夫婦の方々の定住化を図ることが人口増加につながるものと理解しております。ご指摘のように住環境の整備が必要であります。村では、一

昨年から地域活性化定住対策協議会を立ち上げて、今年度で3年目となりました。各行政区に空き家情報や住宅適地などについて組織を立ち上げて協議を図っております。

さらに保育所の延長保育や土曜日一日保育の実施、幼稚園預かり保育並びに小学校低学年児の放課後児童クラブ事業を展開しております。

また、母子父子家庭支援事業として、母子・父子家庭の小・中・高校生に、1人5,000円のほほえみ福祉年金を支給し、児童・生徒の健全

な育成と福祉の増進につとめて
いるところであります。



地域交流(世代間交流)事業 しめ縄づくり



塩澤重男議員

Q 少子高齢化対策について
A 住環境、雇用の創出、未婚の解消を考えている。

「広報たまかわ」を見ると、出生数が少なく、亡くなる人の数が多い。また、転入者より転出者が多い。

人口減少が急速に進んでいる。将来、玉川村が衰退していくのが危惧される。子供の数が少なく、高齢者が多い人口構成になっていくのが心配。

問 村の人口維持及び増加の具体的施策について伺う。

答 問②から問④で答弁。

問 若者が定住できる低料金の住宅作りや使用料助成の考えは。

答 若者向け公営住宅や使用料助成は考えていない。

若者が定住しやすい政策として、働く場所・教育環境・医療福祉など総合的な施策の中で判断していく。

問 雇用の場の確保対策をどのように進めるのか伺う。

答 ポリマテック跡地への誘致は決定していない。企業は海外進出が多く、地方進出は激減している状況。今後、企業

問 雇用の場の確保対策をどのように進めるのか伺う。

答 10年後の数字把握していないが、4年後の人口6,782人、65歳以上の高齢化率28・1%。

問 村の10年後の人口と高齢化率はどれくらいになるか(見込み)伺う。

答 5町村広域連携で3回、村単独で1回実施。1月に2回目を実施の予定。

進出に努力を傾注し、新規の進出企業誘致に対応していく。問 未婚者解消のための婚活支援の状況と成果について伺う。



ゲートボール大会

Q 行財政改革の取り組みについて
A 『第5次玉川村行政改革大綱』を策定し取り組む

人口減少と少子高齢化が進む中、社会保障費の増大が懸念される。このことから地方交付税の減額や村税の減少が予想される。村長が厳しい財政、限られた財源というのは理解

出来るが、住民への要望に応えていく必要がある。玉川村は自立の道を選択している。社会の変化により、事業の見直しと更なる行財政改革の推進が必要と思われる。第4次玉川村行

財政改革大綱は平成17年〜平成21年までの期間で終了。玉川村行政改革推進委員会に6つの事項が諮問され委員会より答申されました。

問 この答申を受け事務改善委員会でのように対応するか検討した結果と具現化への取り組みについて伺う。

答 東日本大震災により一時中断、24年8月に素案を検討、今年度大綱を策定する。

問 『玉川村集中改革プラン』の成果と評価の検証はなされたのか伺う。

答 定員10%削減、他の項目についても、進捗状況を調査し検証した。22年以降は策定なし。

問 職員の意識改革が求められ『玉川村職員提案規程』に基づいた職員からの提案はどのようなものがあるか伺う。

答 事務処理の改善、経費の節減、職員の資質の向上 提案9件 採用2件。

問 事務事業評価や行政評価制度の活用で改善されたものは何か。

答 評価する体制が未整備。今後検討したい。

問 平成22年以降の第5次玉川村行政改革大綱の策定について伺う。

答 本年度中の策定を予定。問 行財政改革の必要性について村長の考えを伺う。

答 限られた財源、効率的な行財政運営のため『行財政改革』は必要不可欠。『第5次玉川村行政改革大綱』を策定し、推進委員会の答申項目に取り組む。



鈴木忠雄議員

Q 危機管理について

問 東日本大震災・原発の爆発事故による放射能汚染・台風15号での堤防決壊等の災害を検証して、平成25年3月に、玉川村地域防災計画が修正されたと思うが、①東日本大震災②原発の爆発事故による放射能汚染③台風15号での堤防決壊による災害の3点について修正された内容をお伺いいたします。

答 従来の防災計画を策定してから、13年が経過していることから、16組織・27人の防災会議委員会を組織し、全面的な見直しを行った。

①・③の災害等の教訓を踏まえた防災対策の強化推進のため、国・地方公共団体及び、その他の公共機関等を通じて、必要な体制を確立し、実施責任を明確にして、災害

予防、災害応急対策、災害復旧及び、その他の必要な災害対策の基本を定め、総合的、計画的な防災行政の整備及び推進を目的とした。

②原子力災害の特殊性を踏まえ、住民に対する放射線等に関する知識の普及等、放射線防護資機材の整備など必要な体制を確立する内容となっている。

問 避難等の伝達手段は、形式的な通報では意味を持たないと思うが、特に停電の場合はどうするのか。

答 発電機を利用して、防災行政無線放送で伝達します。

問 水防計画については、詳細は玉川村水防計画によるとあるが、策定したのか。

答 玉川村水防計画の詳細は策定していない。

Q 瓦礫置き場について

問 瓦礫置き場の跡地を約1億円の金額で土砂等の入れ替えを実施する目的を、お伺いいたします。

答 瓦礫を撤去した跡地は、幼保一体化の施設、こども園の建設候補地と考えており、コンクリートの破片、木くず、金属片等の障害物を撤去し、最終処分するために経費を概算で計上した。その後、11月に災害廃棄物の国庫補助金の査定を受け、工事費で約3千4百万円、その他、瓦礫の運搬処分料などの委託費で、約2千6百万円で、査定が終了した。今後は、障害物の撤去を行ったうえで、



瓦礫置き場

で、残土については、再生できないものについてのみ、最終処分することになります。

Q 反問権について

問 3月定例会での一般質問に対し「提案については、承っておきます。」と言う答弁を、どう理解すれば良いかお伺いいたします。

答 提案の件につきましては、

承っておきたいと思えます。

問 議員は、執行機関を差配しないから、何を言っても執行責任を伴わない。村長(首長)の場合、そうはいかないと思うが。

答 提案の件に関しましては、承っておきます。

問 堤防の決壊は、人為災害と思うが。

答 堤防を越水して決壊した、自然災害と認識しています。

検証レポート その後

議員の質問等に答える執行部、その答弁がその後どうなったのか。どう村政に反映されたのか、対応を検証しました。

一般質問： 須賀川消防署玉川派出所の24時間体制の実現は。(平成25年6月)

村長答弁： 24時間体制の実現に向けて、関係機関に強く働きかけていく。

その後——
平成26年4月1日 須賀川消防署からの派出による24時間体制に。
平成28年4月1日 石川消防署玉川分署に昇格。署員13名体制。

1/12 村成人式

『あきらめない気持ちをもつ』 新成人を激励

玉川村成人式は午前10時30分からマーヴェラス末広で開かれました。今年の成人者は89名で、石森村長の式辞のあと川崎教育委員長のあいさつ、須藤議長、岡部選挙管理委員長からお祝の言葉が贈られました。村議会からも議員が出席して新成人者をお祝しました



成人式(議長祝辞)



ひまわり園遊技室



仙台太陽光発電所

幼稚園と保育所を二元化した宮城県大崎市三本木子育て支援総合施設「ひまわり園」と、地産地消の推進と食育の充実を目指して運営されている大崎市大崎南学校給食センターを視察した。
福島空港メガソーラー事業が開始されるにあたり、仙台太陽光発電所と、集落営農に取り組み農地を守り生産性の向上を目指した「農事組合法人 原体ファーム」(岩手県奥州市)を視察した。

11/19~20

常任委員会合同行政視察研修

議会のうごき

11月

- 2日 玉川村文化祭(たまかわ文化体育館ほか)
- 7日 全員協議会(議員控室)
- 7日 石川地方町村議会議員研修会(玉川村)
- 10日 第3回たまかわ産業まつり(たまかわ文化体育館ほか)
- 13日 第57回町村議会議長全国大会(東京都)
- 17日 ふくしま駅伝競走大会
- 19日~20日 常任委員会合同視察研修(宮城県大崎市、七ヶ浜町、岩手県奥州市)
- 22日 福島県町村議会事務局職員研修会(福島市)
- 24日 公立岩瀬病院内覧会(須賀川市)
- 25日 石川地方町村議会事務局長会議(石川町)

12月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 第3回地方自治研究交流セミナー(石川町)
- 13日~18日 12月定例会
- 26日 石川地方生活環境施設組合議会定例会(石川町)
- 26日 公立岩瀬病院企業団議会定例会(須賀川市)

1月

- 6日 新春互礼会
- 9日 石川地方町村議会議長会(石川町)
- 9日 年始知事懇談会(福島市)
- 12日 成人式、消防団出初式
- 18日 藤田幸一氏叙勲受章祝賀会(石川町)
- 23日 議会広報編集委員会(議員控室)
- 29日 第4回地方自治研究交流セミナー(石川町)

東日本震災・原発事故から3年を迎えようとしておりますが、いまだ原発の事故では多くの課題を残し、多くの人々がさまざまな問題を抱えて居ります。
また、TPP・消費税の問題と本村政においてもこれからの問題を村当局と議会は、この山積する課題に村民に答えられるよう村政に反映すべきであると思っております。

渡邊 一雄

あ
と
が
き



昨年、全国的に天候不順により、全国各地において災害があった年でありました。
本村においては人的、その他の災害も余り無く、米の収穫も平年並みに収穫され安堵された年ではあったかと思えます。